

平成 24 年第 14 回

札幌市教育委員会会議録

※ 非公開に係る議案を除く

平成24年第14回教育委員会会議

1 日 時 平成24年9月4日（火） 13時30分～14時20分

2 場 所 S T V北2条ビル4階 教育委員会会議室

3 出席者

委員長	山 中 善 夫
委員	臼 井 博
委員	西 村 真 理
委員	池 田 光 司
委員	北 原 敬 文
教育次長	町 田 隆 敏
生涯学習部長	梅 津 康 弘
財務係長	山 形 博
企画調整担当課長	前 田 明 寿
調査企画担当係長	樋 口 裕 二
学校教育部長	金 山 正 彦
指導担当部長	池 上 修 次
教育研修担当部長	大 友 裕 之
中央図書館長	長谷川 利 雄
総務課長	長谷川 雅 英
庶務係長	宮 地 宏 明
書 記	藤 間 雅 尚

4 傍聴者 1名

5 議 題

議案第1号 平成24年度教育委員会事務の点検・評価報告書について

議案第2号 平成23年度教育費決算に係る意見について

議案第3号 平成24年度一般会計補正予算案に係る意見について

【開 会】

○山中委員長 それでは、これから平成24年第14回教育委員会会議を開会いたします。

本日は、設楽委員から、所用により、会議を欠席するとのご連絡がありました。

会議録の署名は、臼井委員と池田委員にお願いいたします。

それから、本日の議案につきましては、議案第2号及び第3号につきましては、議会の議案にかかわる市長への意見の申し出に関する事項でございますので、教育委員会会議規則第14条第4号の規定によって公開しないこととしたいと思いますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」と発言する者あり)

○山中委員長 それでは、本日の議案第2号及び第3号につきましては、公開しないことといたします。

これから議事に入りますが、大変お暑うございますので、最初から上着は脱がせていただきます。どうぞ、皆さんも、適宜、脱いでください。よろしくお願いたします。

【議 事】

◎議案第1号 平成24年度教育委員会事務の点検・評価報告書について

○山中委員長 それでは、議案第1号につきまして、事務局からご説明をお願いいたします。

○生涯学習部長 それでは、議案第1号の平成24年度教育委員会事務の点検・評価報告書についてご説明をいたします。

教育委員会事務の点検・評価については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律、第27条第1項において、「教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない」と定められております。

本議案は、この法律の規定に基づき、平成23年度の事務事業について、その点検・評価を行い、結果をまとめたものを平成24年度の報告書としてよろしいか、お伺いをするものでございます。

なお、ご決定をいただいた報告書につきましては、法の規定によりまして、この後、議会に提出するとともに、公表いたす予定でございます。

ご審議のほどをよろしくお願いいたします。

○山中委員長 ありがとうございます。

この件につきましては、これまでたびたび会議を重ねましてここに至ったわけでございますが、学識経験者の意見がありますが、この辺については特にご説明はありますか。

○生涯学習部長 前回、前段の中身については、様式に沿った形で編集し直して、前と裏にございまして、37ページ以下40ページまでで学識経験者の意見ということで載せてございます。

まず、札幌大谷大学の梶井教授につきましては、最近の傾向といたしまして、教育をめぐる話題といたしましては、学力ですとかいじめですとか、災害のときの判断などについて注目を集めるという部分が多いけれども、教育委員会としては、将来を見据えた大局的な視点を持つということはさらに重要ではないかという前段でご意見をいただいた後に、1番目の学ぶ力の育成の部分につきましては、研修、研究の充実に特段の配慮はされているようだけれども、汎用性の高いモデルとして教員への普及啓発がされるようにすることはさらに重要ではないか、それから、そういった研修の成果を保護者や地域に対しても発信していくように配慮してほしい、それから、自ら学ぶ習慣づくりの部分につき

ましては、家庭への働きかけの実践事例が少し乏しいのではないかと、それから、学校への人的支援の充実としてのボランティアの関係につきましては、支援の受け入れ体制を整備すること、それから、量的な確保とともに、質的な水準の維持も重要ではないかと、課題ではないかというような部分、それから、今日的課題の対応につきましては、異文化理解の深化という課題が指摘されている中で、他者理解、寛容性の醸成、歴史・文化など幅広く知的理解を深めることも並行して取り組むことを望むこと。

それから、2番目の信頼される学校の創造の部分では、いわゆる施設面だけではなく、子どもたちが安全・安心に通える場として学校が信頼に足り得るのかという部分に集まっていることでもあるので、その辺の関心にこたえていくための道筋について今後さらに検討してほしいというご意見です。それから、図書、読書活動につきましては、ブックスタートなどの就学前教育については、保護者、地域を巻き込んだ事業展開を今後期待したい、それから、市民全体の生涯にわたる読書環境づくりにつきましては、いわゆる学校図書館の地域開放事業への目配りが重要であること、そして、この事業が家庭、地域と連携した読書活動の整備ということにとどまらず、学校施設の地域における有効活用という点からも注目をされるということ、それから、それらの取り組みによって学校と地域が新たな関係を築く中で、子どもたちがコミュニティーについて学び、地域に貢献する人材として育っていくことを望みたいというようなご意見をいただいております。

次は、39ページ、北海道教育大学の久保教授からは、今回選定された項目の4項目については、時宜を得たものであって、札幌らしい取り組みを行って成果を上げているということで、全体的な評価をいただいた後で、学ぶ力の育成の部分では、特に、算数をつくる子どもという冊子にまとめた研修成果でございますが、これを大変評価していただいております、こういったものについて、可能であればほかの教科などでも取り組んでいただきたいというご意見です。それから、朝読書の関係で、小学校は100%、中学校96%と高い確率で実施されていることも評価されております。それから、学ぶ力の育成の部分では、さらに札幌市の理科教育の充実や、グローバル化に対応した小学校の外国語活動、中学校の英語教育の充実のため、人的な対応も含めてその環境づくりを引き続き検討していただきたいというご意見です。

それから、2番目の信頼される学校の創造の部分では、前段で昨年の東日本大震災の教訓を受けてさまざまな取り組みをしたということについて、適切な対応であったという判断をいただいた後で、地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業に対する評価、それから、学校給食の施設・設備の充実に向けた取り組み、放射線物質検査の実施など、給食をめぐる取り組みについては適切であっ

たという評価をいただいております。それから、施設面の耐震補強事業については、計画について速やかに推進していきたいという希望が述べられてございます。

3番目の読書活動につきましては、学校図書館のボランティアの派遣につきまして、これとあわせて学校図書館アドバイザーの派遣を行っているということを学校図書館の利用を促進する上で評価した後、それから、小・中学校で学校図書館の図書標準を達成したことも評価をしていただいております。今後としては、学校図書館のサポートシステム、市立図書館等との連携したネットワークのさらなる充実を期待したいというご意見でございます。

市民の生涯にわたる読書関係については、中央図書館の蔵書検索システムのスピード化、簡易化、ビジュアル化などに向けて一層の改善、充実を期待したい、また、電子書籍の貸し出しサービスの実施に向けてさらに実証実験を進めていただき、時代のニーズに即した対応を期待したいというようなご意見をいただいております。

学識経験者の意見についての概要は以上でございます。

○山中委員長 ありがとうございます。

以上の説明を踏まえまして、さらに皆さんの方からご質問あるいはご意見はありませんか。

○池田委員 この間、私もちょっと読み返してみて、13ページの信頼される学校の創造、安心・安全という中で、どちらかというと、学校の校区外といいますが、校区内ということももちろん書かれていますけれども、災害とかそのようなことに重きを置いて書かれているような気がして、いわゆるいじめとか、あるいは学校生活を安心・安全に暮らせる生徒たちのあり方みたいなものがもうちょっと表現されてもいいのかなというようなことがあります。ただ、横断的、断片的に書かれている部分も幾つかありますので、それはそれでいいかなというところですが、ちょっと気になったところではありました。

○山中委員長 いじめとかその辺のことは、また別のところではなかったでしょうか。

○北原委員 学ぶ力、知・徳・体のそっちのくくりの中に入って、今回は、その部分で言うと知を取り上げています。学校の安全・安心に関して言うと、今、池田委員の方からご指摘をいただいた部分というのは、このところではイジェクトして含んでいなかったものですから、今後、取り上げていく項目の中に、

今年度、こういった要望は全国的な問題にもなっていますので、次年度以降の項目として検討していくときにまた一緒に検討させていただけたらというふうに思います。

○山中委員長 最初の問題設定のときに、私はちょっと議論があったような気がするのですね。

○池田委員 何か、これを見たときにそこがすっぱり抜けているように誤解されるのではないかとちょっと危惧されるものですから、一応、今日、議論として、議題にのせていただければありがたいなというふうに思いました。

○山中委員長 それでは、どうしておきましょうか。来年以降の課題として。

○北原委員 たしか、昨年度の検討の中でその辺は含んでいたのではなかったかと思うのです。それが、たしか2年間、続いていたと思うのです。そして、今年度はどの項目をといたときに、常に同じテーマで、観点でということではなくて、別の観点にずらしたところがありますけれども、今おっしゃったように、改めてクローズアップされている課題ですので、次年度以降、考えていくときに、また項目選定の中で一緒に考えてさせていただけたらというふうに思いますが、いかがでしょうか。

○山中委員長 ほかにございますか。

○西村委員 一番後ろのところに過去の点検・評価項目というのが載っています。47ページですか、そこの平成20年度の事業のところには、いじめとか。

○企画調整担当課長 23年度の②の豊かな心の育成に関連して不登校、いじめを扱ってございます。そして、④の関連で、ニート関係、引きこもり等を扱って、そのあたりはまとめて点検・評価をいただいているところでございます。

○山中委員長 23年度の豊かな心の育成の中に括弧なりしてちょっとつけておいた方がいいのではないのでしょうか。

○企画調整担当課長 承知しました。

○西村委員 そんなような形であれば、去年、前の年には一応点検しているの

だということにはなるかと思えます。

○池田委員 実際に、第三者委員会からは、先駆的に、率先して、という経緯もありますので、そのところは、十分、内容としてはやっているのですけれども、何か誤解されないかなと思っていたものですから。

○山中委員長 評価対象項目の選定のところでは、特に書かなくてもいいのでしょうか。

○池田委員 23年度の括弧書きで書いています。

○山中委員長 この程度でいいですね。23年度は、②のところに括弧書きで。

○北原委員 いじめ等とか。

○山中委員長 そのほか、いかがでしょうか。

いずれにしても、このような点検・評価をしましたというだけではいけないので、これをさらにまた施策などに活かしていくように、それがないと言うと言い過ぎかもしれませんが、それが大事なことです。そういう意味で、引き続き毎年度やっていかなければいけないことで、たまたま、今年度の点検・評価の関係ではこれを取り上げましょうと、たくさんの項目の中から絞って、毎年のようにいろいろなものを点検・評価しているという形ですから。

非常に、こういったものは、例えば議会で説明する場合ももちろんですし、それから、ホームページなんかで立ち上げる場合も、若干そういう説明があった方がいいのかもしれないなという気がします。その辺はよろしく願います。

ほかにいかがでしょうか。

特になければ、議案第1号につきましては、この内容のとおり議会で報告するという事で承認してよろしゅうございますか。

(「異議なし」と発言する者あり)

○山中委員長 では、そのように決定させていただきます。

続きまして、議案第2号になりますが、ここからは公開しない議案となりますので、傍聴者の方はご退席をお願いいたします。

以下 非公開